

年	月	俳句	短歌	紀行文	
2017	2月号		ケルン積み恩師を偲ぶ夏空に 岩と雪なる劔岳雄々しき		
	4月号	「今月のベスト」としての掲載辞退→	地熱あり噴気漂う妙高山の マグマの息吹きが我が身を包む	年間最優秀賞 先生のケルン	
	6月号	寒晴れに心もはづむ一歩かな	季節風吹きだす山でただ一人 霧氷飛び交う雪壁登る		
	8月号	わすれ雪背に受け下る山静か	道標は海老の尻尾に覆われて 飯豊は霞む黄砂風吹く		
	10月号	熊除けの鈴の音やさし風涼し	石楠花の園を見下ろす青空に 聳える駒ヶ岳は残雪光る		
	12月号		池塘光る天狗の庭を見下ろして アサギマダラは夏空を飛ぶ		
2018	2月号	草もみぢ池塘は青き空映す	頂より見下ろす雨後の日本海 波の彼方に米山霞む		
	4月号	弘暁や雪の谷川岳あかね射す	雪稜を崩して登る靴跡の 白と青との雪の陰影		
	6月号	数へ日や夕陽の淡き大同心	ラッセルの一息つけば頸城野の 南に麗し越の名香山		
	8月号	休 載			
	10月号	霧氷散る光と風とたはむれて	雪の尾根ころがり落ちる友の背に 「止まれ！」と念じ見守るばかり		
	12月号	下山路の深きしじまや時鳥	急登の木洩れ日浴びて登り来る 小屋の歩荷の汗とめどなし	読者紀行 特別編 劔岳早月尾根 秋の一日	
2019	2月号	熊除けに打つ手拍子や秋深し	凍りつく岩を掴んで仰ぎ見る 青く輝く十月の空		
	4月号	もみじ山切り裂き落ちる滝白し	曙の光を受けて南に駒ヶ岳の 雪肌あかく輝く		
	6月号	霧氷咲く光る山並したがへて	雪の尾根うしろに迫る足音は 若くかろやか道あけて待つ		
	8月号	紅梅の御空に白き孤峰かな	日本海見下ろす尾根の雪割草 群れ咲き強き海風に揺る		
	10月号	岩清水手で汲み下山祝いかな	残雪にまだ新しき熊の足跡 心静めて足早に去る		
	12月号	草むらに輝く白き尾上蘭	尾根道に白き花びら散り敷いて 見上げる枝に沙羅の花咲く		
2020	1月号	休 載			下山 谷川岳西黒尾根
	2月号		雲が湧く北斜面に立つペニテンテ 横目で見据えザイルを結ぶ		
	4月号	青空に映え秋色の懺悔岩	道ふさぐ霧氷をくぐり踏みこえて 冬空青き頂に立つ		
	6月号	霧氷咲く尾根の脚下の海青し			
	8月号		風光る峠に立ちて見つむれば 白き峰々語りかけくる		
	10月号		アイゼンの音もひそけき雪稜に 遠き雪崩が続けて響く		
	12月号	星流るアンナプルナや亡父の忌			
2021	2月号	池塘ひかる頂広し草紅葉			
	4月号	八海山の岩屏風立つ冬霞			
	6月号		頂上より見下ろす雪の広野へと 「天使の梯子」の光が届く		
2022	2月号		急登を登り大山祇の碑へ 頂上までは秋草の道		
	6月号		烈風の雪稜下り森のなか 瞳優しき羚羊と遇う		
	8月号		介護から東の間離れ里山へ 緑の風にしばし安らぐ		

8月号で山溪の俳句、短歌欄は終了となりました。